

うちで の らぶら ち

Uchide-no-koduchi

Vol.

28

発行/財滋賀県産業支援プラザ

がんばるお店レポート

2・3



CONTENTS

- **この人** (滋賀県元気企業紹介) — 4・5
- **できるわかるNET**いるは塾 — 6・7
- **TOPICS**
滋賀県産業振興新指針が策定されました! — 8・9
- 平成13年滋賀県貿易実態調査
結果の概要をお知らせいたします! — 10
- 「企業組合制度」でコミュニティ・ビジネスに挑戦!! — 11
- 「滋賀県健康福祉ビジネス産業化セッション事業」
調査・研究の公募について — 12
- びわ湖環境ビジネスメッセ2003 出展者募集中! — 13
- **産学連携** (成安造形大学) — 14
- **スマイル** (憧れの仕事) — 14
- **プラザ技術研修紹介** — 15
- **新着図書&ビデオ紹介** — 16

がんばるお店レポート

新しい“お灸”のイメージを
提案する人気のアンテナショップ

せんねん灸ぎゅうでござる

“お灸”と聞いて、熱さに耐える姿を思い浮かべたり、昔を懐かしむのは、今や古い感覚といえそうだ。セネファ株式会社初の直営店「せんねん灸でござる」は、休日ともなると若い女性グループやカップルが詰めかける、長浜の人気スポット。お灸の新時代を開拓してきた同社の、店づくりに込めた熱い思いを紹介する。



▲曳山博物館前に店を構える「せんねん灸でござる」。多くの人が詰めかける長浜の人気スポットとなっている。

長浜を訪れる観光客に 新しいお灸のイメージをPR

日本三大山車祭に数えられ、国の重要無形民俗文化財にも指定されている長浜曳山まつり。その歴史を知ることができる曳山博物館の前に、3年前「せんねん灸でござる」が登場した。昔ながらの建物と現代的な感覚が融合した長浜の街並で、白木を生かしたナチュラルな外観はひときわ目を引く存在。

「長浜は、近畿圏はもちろん全国から観光客が訪れる地。その土地柄を生かし、“お灸”を広くPRするためのアンテナショップとして、この店をオープンしました」。セネファ株式会社の代表取締役押谷俊憲社長は「まず、お灸のことを知ってほしい」と、その狙いを語る。

同社は、昭和24年に押谷社長の父親が創業した「押谷商店」がルーツ。その後、昭和57年に製造を手がける「せんねん灸株式会社」と、発売元「セネファ株式会社」を法人化。その間に発表された「熱くなく」「跡が残らず」「使いやすい」「せんねん灸」によって、従来のお灸のイメ

ージを一新したパイオニアでもある。

「お灸のイメージは、大きく変わってきています。特に若い女性の間では、健康のためだけでなく、リラグゼーションとしてお灸を楽しむ人も増えてきた。多彩なニーズに対応しつつ、新しい使い方の提案もしていくことが、商品づくりに求められているんです。

ひとりひとりのお客様と接していると、そんな商品へのニーズや反応が、ダイレクトに伝わってくる。この店は、より魅力的な商品を作るための情報収集の場でもあるんです」。

自然の安心感、 伝統が伝わる店づくりを

店内の一角には、石臼や水車をディスプレイし、創業当時の製造風景を再現。壁面には、伊吹山の緑豊かな山並が描かれ、床に巡らされた水路が小川のせせらぎを思わせる。まるで自然に包まれているかのような、心とませる演出だ。

「お灸の歴史は古く、最近では約5000年前のエジプトでも使われていたと言われています。中国から日本に伝わったの

は562年ですが、それだけの長い年月を経ても、お灸という療法は今なお受け継がれている。製造方法も、石臼や水車での作業は機械化されていますが、基本的な行程は昔と同じなんですよ」。

さらに、同社のお灸に使われる“モグサ”は、その多くが地元の伊吹山で取れる“ヨモギ”が原材料。豊かな自然の恵みと、それを生かす先人たちの知恵が脈々と息づいているからこそ、「お灸には、天然の素材を使っているという安心感と、伝統に裏づけられた信頼感がある」という押谷社長。ナチュラルな仕掛けや、歴史を感じさせるコーナーなど、雰囲気づくりの中にも、商品の伝統と安心感を伝える演出が行き渡っている。

『買ってもらう』ではなく 『わかってもらうため』の対応を

「いかがですか」――。店頭では、女性スタッフが通りがかる人に明るく呼びかける。「へえ～、お灸?」。若者は興味深げに、年配の人は懐かしげな表情を見せながら、商品が並べられたワゴンを覗き込む。そして、多くの人が、そのまま

其の 一 アイデアで販路の可能性を広げる

昔ながらの商品でも、見せ方やアイデア次第で、思いがけない新鮮な面を見せたり、新規の販路の開拓に結びつけることがある。お灸イコール薬局でなく、同社は温泉施設や雑貨店などへも商品を提供。「そこに置くのはおかし、という固定概念を捨てるのが大切」と、押谷社長は言う。



▲100の症状に合わせ、ツボをわかりやすく紹介した「ツボブック」。バインダー式のシンプルな装丁は、書店だけでなく、バラエティショップに置いても違和感がないデザイン。実際に、東急ハンズの人気商品で、プレゼントとして購入する若者も多いそう。

近江商人 うちの工夫

其の 二 パッケージの「お灸をすすめるぞよ!」 のコピーに思わずドッキリ?

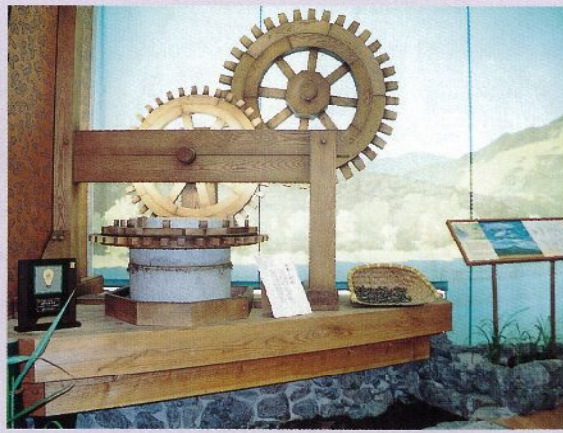
実際にお灸を入れ、交通安全のキャンペーンに使用された。押谷社長自ら、警察まで出向いて提案した企画なのだ。



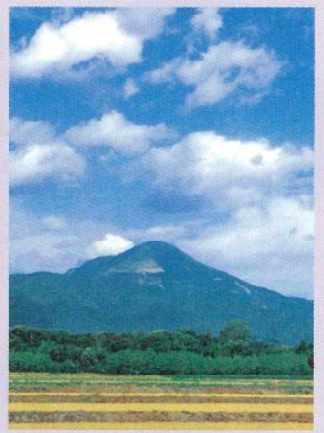
▲店内には、ミャンマー産のシャムプーン



▲セネファ株式会社代表取締役兼伊吹山社長。「先代社長の父には、広告や宣伝に力を入れていくことの大切さを教えられてきました」。同店には、「ちよくちよく来て、お客様の声をこっそり聞いている（笑）」とのこと。スタッフによると「小さなトラブルでも、すぐに駆けつけてくれる」フットワークの軽い社長なのだそう。



▲昔の「モグサ」の製造風景を再現したコーナー。背景の壁面に描かれているのは伊吹山。



▲せんねん灸の故郷、伊吹山。

吸い込まれるように店内へ。なかには、「いつものヤツ」と買っていく年配のお馴染みさんもいれば、スタッフに勧められ、初めてお灸を体験して笑顔を交わす若いカップルの姿もある。商品の魅力もさることながら、親しみのあるソフトな接客もこの店の魅力のひとつだ。

「女性スタッフがいると、同年代の人や女性が入りやすい。接客する時は、お灸をよく知らない人のため、その使い方から効果まで、商品のノウハウを詳しく紹介しています。心がけているのは『買ってもらうため』ではなく、『わかってもらうため』の対応なんです」。

接客はもちろん、ツボの位置を記した人体図を壁面にディスプレイしたり、コンパクトでカラフルなリーフレットを各コーナーに設置したり。店内を見渡せば、至る所に『わかってもらうため』のさりげない工夫を見つけることができる。そんなきめ細かいアプローチが、消費者にとっても「商品を知り、より自分に合ったモノを見極める」ための、うれしい気配りとなっているようだ。

ビジネスもお灸も 日々の積み重ねを大切に

初の直営店での大きな成果。さらなる展開予定を訪ねると「今度は、都会の繁華街やオフィス街に、オープンしたいですね。最近のOLは、一日中デスクワークでパソコンに向かいっぱなし。ストレスや体の不調を訴える人の、健康づくりのお手伝いができれば」と押谷社長。

「でも」と、穏やかな笑顔を見せながら「お灸は、毎日コツコツと続けることで、その人の治療力や免疫力を高め、健康増進につながる。ビジネスも、一緒です。まずお灸のことを知ってもらう努力をする。次は使ってもらえるチャンスを作る。同時に魅力的な商品を工夫し、お客様に投げかける。そんな日々の積み重ねを大切にしていきたいですね」。

よき伝統とその精神を引き継ぎ、時代というエッセンスをプラスアルファしながら歩み続けるお灸の「開拓者」。軽やかでありながら力強い足取りが、今後どんな新しい世界を切り開くのか、期待が高まる。

うちのおすすめ商品

その1 貼るだけだから気軽にトライ 「火を使わないお灸」



▲昨年12月に登場した、火を使わない温灸「世界」と「太陽」の2種類を詰め合わせた、ビギナーにうれしいパック。もぐさの臭いが少ないので、外出時でも安心。

その2 女性の熱い願望にフィット 「せんねん灸のまじない」シリーズ



▲レギュラータイプのほか、ニンニク、ショウガなど5種類がひと箱に。レトロなデザインのパッケージと、あれこれ試せる気軽さが女性に受けている。「冷え性のまじない」「美肌のまじない」など、用途に合わせて6種類をパック。

せんねん灸でござる・DATA

- 滋賀県長浜市元浜町5番地16号
TEL 0749-63-9950
- AM10:30~PM4:00（日曜祝日はPM4:30まで）
- 無休
- URL：http://www.sennan.co.jp/



■エギを使ったお茶や子ども。

▼アロマテラピー感覚で香りも楽しむお灸は、若い女性に人気。



▼昔ながらのお灸のコーナーは、高齢者に人気。壁面には人体図を使ってツボの位置を紹介。



▼伊吹山のヨモギは、古来より「伊吹もぐさ」の名で全国に知られ、その品質のよさで珍重された。

滋賀県 元気企業 紹介

～Aランク評価企業の経営者に聞く～

株式会社日本ジー・アイ・ティー

代表取締役社長
伊田 省悟さん



社名のジー・アイ・ティーとはグローバル・インターフェース・テクノロジーズの頭文字を取ったもの。我が社の目指すところが分かってもらえると思います。40歳頃から将来像を漠然と描いていましたが、50歳を前にこれから考えた時「独立するなら今しかない」と起業に踏み切りました。日本IBM在職中に研究・開発した技術をもとに「大企業ではできないことを自らの力でやりたい」との思いがあったからです。

仕事柄海外勤務も経験。起業に当たっては先にアメリカで会社を作り、その子会社として栗東に日本法人を設立しました。大企業優先の日本では、ベンチャーと聞くとあまり良いイメージを持たれないことが多いのですが、米国では起業を応援する環境が整っていて、ブランドや規模に関わらず会社の実力で評価をしてもらえます。手続きも日本に比べ簡単。しかも起業の際国内の同じような会社を検索したところ、国内向けにビジネスをしている所がほとんどで、当社のように世界を目指している所は皆無。将来の事業展開を考えた上でも、米国に本社を置く方が有利だと考えたのです。

当社の主な事業はコンピュータ応用電子機器・情報通信機器の開発および販売。IBM時代、共に仕事をしてきた優秀な技術者が創業の想いに共感し、共に働いてくれています。実は今、当社が開発を表明したUWB（※Ultra WideBand 超広帯域無線）技術が世界的に注目を集めています。数百メガビット/秒という超高速の無線デ

目指すは世界市場。UWB技術の製品化でユビキタスを現実のものに。

ータ通信でユビキタスの実現を可能にする技術で、2004年の製品化に向け、現在正念場を迎えています。これまでの実績と信用をもとにベンチャー・キャピタル等に出資を依頼。昨年6月にいただいたAランク評価は、信頼に足る企業として今この状況で役立っていると思います。

創業から2年。IT技術開発のスピードに遅れることなく、何とか当初の計画通り事業展開ができていると考えています。ただこのまま事業が順調でも、従業員が100人200人といった大きな企業にするつもりはありません。創業時の想い「大企業でできないこと」を旨とし、スピードがあり小回りの利く会社であり続けたいと思っています。

会社データ

本社 栗東市手原5丁目6-19
TEL 077-554-8630
主な事業内容 コンピュータ応用電子機器・情報通信機器の開発および販売、超小型・微小電力無線データシステムの研究開発
URL <http://www.git-inc.com>

有限会社グリーンウェーブ

代表取締役
永福 義光さん



生活の基本である食を支える農や自然を、「ほんまもん」にこだわってあげていきたいと昨年の5月に創業。創造法も取得した、コメヌカ、オカラやブラックパスなど、今まで地域の中で邪魔モノ扱いされていた未利用の資源を活用した土壌活性化材を製造し、農家の方に販売しています。この土壌活性化材を使うことで、土壌中の微生物が活性化し、質の高い作物が採れるのです。農家の方と一緒に勉強会を持つなかで技術支援をしたり、収穫された農産物やそれを用いた加工食品などのこだわり食品をインター

生活の基本は「食」。
食と農を未来に向けて再構築する。

ネットを通じて販売する事業を展開しています。化学肥料や農薬などを使わず自然の力を借りた持続性のある農業を支えたいと思っています。

今、野菜の米養価はすいぶん落ちています。それをもとに戻し進化させたい。ほうれん草の鉄分をもとに戻したり、トマトにカルシウムを5倍以上乗せたり。土壌活性化剤を使えばそれが可能です。農家の方に、安全で安心でおいしい米養価の高いものを作っていただく手助けがしたい。近江米のブランド復権も夢です。カルシウムを乗せ、米養価の高い無農薬・無化学肥料のおいしいカルシウム近江米を作り上げたいと思っています。

農場での体験イベントもやっています。信頼を生むのは生きた交流。生活者と生産者の交流を深めたい。消費者に本物はこれだということを伝えていくことも大事だと思っています。

きっかけは息子のひどいアトピーです。病院の先生には「子供にいいもの食べさせてるか」と聞かれました。病院の売店では「食」に関する本、無添加の商品や減農薬の野菜がずらり。興味を持ち話を聞き、有機栽培で有名な和歌山の山本さんを紹介されて会いに行き、天地がひっくり返りました。土地を見たら瓦礫。でも食

べさせてもらったトマトがおいしくて、どんだんのめりこみました。おもしろい。当時会社勤めだったのですが辞めよう。息子の一言にも後押しされました。アトピーで学校を休んでいた息子に「僕はほんまは学校に行きたいんや。でもこの体で行けるわけないやろ。なんでこんな体に生んだんや」と泣きながら言われたんです。ものすごいショックでした。商売になるか不安でしたが、土壌活性化材の基礎開発をされた山本さんから「本気でやるなら全面的に支援しよう」と言っていたので決心、1年間和歌山で勉強して滋賀に帰りました。滋賀県中を回り少しずつ農家の方とのつながりができ、月1回勉強会を始め成果も現れてきました。本当に出会いの連続。その時その時出会った人から力をもらって今の会社があります。ありがたいと思っています。

会社データ

事務所 坂田郡米原町下多良2-137
滋賀県立文化産業交流会館4F
SOHOビジネスオフィス内
TEL 0749-52-4067
主な事業内容 土壌改良材製造販売
URL <http://Green-Wave.jp>

今回は、「事業可能性評価事業」で、事業可能性が高いと評価された「Aランク評価企業」の経営者にご登場いただき、自社の強みや会社に何が求められているのか、また、日頃考えておられることを大いに語っていただきました。

詳細については、プラザのHP (<http://www.shigaplaza.or.jp/book/index.html>) に掲載いたしますが、今回の「うちのこづち」では、そのエッセンスを概要の形で紹介します。

お話を伺ったのは、伊田省悟さん、永福義光さん、喜島康隆さん、山田脩治さんの4名の方です。

アルモテクノス株式会社

代表取締役社長

喜島 康隆さん



当社の事業には①照明インバーター事業、②モーター事業、③電子応用事業の3つの柱があります。平成7年の創業時、世界的に省エネが叫ばれる中、照明機器もより明るくちらつきの少ないインバーター化に向かいました。高度な技術を要するインバーターを手がける会社は世界的にも少なく、当社は大手照明機器メーカーのOEMとしてその技術を提供。現在の我が社のメイン事業ですね。②はシャッター開閉用モーターや各種電動機器用モーターの開

発、③は我々の開発力を活かし、医療機器やアミューズメント（ロボット）分野を開拓。よりユーザーの声に近づいた製品づくりを旨とし、今後の成長を期待している分野です。当社がAランク評価をいただいた技術は、「真空ポンプ用監視機能付き制御コントローラーの開発」。この評価をいただいて、プラス要素こそあれマイナス要素は無し。融資を受けた資金は事業化に役立てさせてもらいました。

私はこれまで化学・機器設計・モーター製造技術・電子回路設計など様々な仕事に携わってきました。44歳の時に「電子事業はまだまだ伸びる！」と独立。大きな企業では分業になりがちな開発も、小さな会社なら製品の最初から最後までを受け持つことができます。うちのモットーは「一人一業」。志に共鳴した人が自然と集まり、「経験を持った技術屋集団」となりました。持っていないのは工場だけ。社員の一人一人が高い技術力を持ち、開発・設計から試作・耐

久テストまで行えるのが強みです。こちらからアイデアを出し、バッテリーメーカーと共に「充電式携帯型インバーター蛍光灯」を製品化。デザインまで含めたトータルな製品開発を実現しています。今はOEMが主体ですが、市場のニーズを形にし、いずれは自社ブランドとして人々の役に立つ物を作ってゆきたいと思っています。

我が社の成長のためのキーワードは温故知新。古い物にも価値を見いだす、今までからあった物に目を向けもう工夫することが大切だと感じています。

会社データ

本社 栗東市野尻533
TEL 077-551-2355
主な事業内容 電子・電気製品、磁気製品、応用製品の開発

株式会社ヤマプラ

代表取締役社長

山田 脩治さん



子供の頃描いた将来の夢は「大工か物理学者」。大学院卒業後、大手建築会社に就職を内定したものの、家業の事情で急きょ印刷会社の経営に。こうして私と印刷との付き合いが始まりました。以前の会社では印刷現場・デザイン・コンピュータシステム・人事・経営を一通り経験。その後40歳で今の会社を設立しました。最初の仕事が「レストランの新規開店」の企画。店舗計画はもちろんのことながら、草むしりやお役所周り等、何でもやりました。バブル経済の頃は求人難に目を付け、会社案内の制作から募集・採用まで行う「人事バック」が大当たり。しかしバブルの崩壊で、本来の印刷・

変化こそ安定なり。地域ポータルサイト“滋賀ガイド!”で時代の先端を切り開く!

企画・デザインの仕事に力を注ぐと同時に、ビジネスにITを取り入れることを検討。

開業当初から徹底してデジタル化に努め、メモ以外、社内文書の手書きを厳禁。パソコンを積極的に活用し、印刷についても製版までのコンピュータ化にいち早く取り組むなど、モットーである「変化こそ安定なり」を実践してきました。

それ故、ホームページの受注にも積極的に取り組んできましたが、やがて、ITブームは終えん。しかし、これまでのパンフレットやチラシとは違ったこのすばらしいツールをどう活用していくか…? 「地方の時代」と言われるこれからの時代をどう生き抜いていくか…? この経済の閉塞感からどう抜け出していくか…? こうした問題を煮詰め、手にした一つの回答が滋賀の地域ポータルサイト「滋賀ガイド!」だったのでした。

インターネットは普通「全世界」「全国」というイメージが先行しがちですが、むしろ最も身近な私たちの「日常生活行動圏」に寄り添ったサイト。これをやるべきだと言出したのは当社の若手のスタッフでした。もちろん、目指すイメージはあってそれを形にしていくのは並

大抵ではありませんでした。さらに、ITバブルの後遺症もあり、営業に出向いてもなかなか分かってもらえず、誠心誠意説明してもお客様に伝わらないもどかしさを彼らはひしひしと感じたと思います。

しかしそれでも若いスタッフはこの2年間、夢と不安を同居させながら自分を奮い立たせ、「想い」を形にしてくれました。今回Aランク評価をいただいたことは、自分たちが信じてやってきた事が認めてもらえ、心底嬉しく思っています。最近ブロードバンドが急速に普及し、この「滋賀ガイド」は基礎的な収支のバランスが取れはじめていますので、スタッフの「技術」「やる気」を会社の「信用」「資産」、そして私の「経営経験」で支え、さらに大きく発展させていきたいとみんな張り切っています。

会社データ

本社 近江八幡市桜宮町289 フジビル
TEL 0748-34-8870
主な事業内容 インターネット、印刷、企画・デザイン、CM・ビデオ、イベント、店舗計画
滋賀ガイド! 編集スタッフ 竹末就一・北中敦・掛合友美・三澤政敏
URL <http://www.o-i.jp>

eビジネス

中小企業のみなさまが情報化への理解を深めていただくために当産業支援プラザではHP上に「できるわかるNETいろは塾」を開校しています。今回は、「e-コマース、e-マーケティング」について分かりやすい内容で紹介しています。「うちのこづち」ではその概要を紹介しました。詳細については、プラザのHP (<http://www.shigaplaza.or.jp/book/index1.html>) をご覧ください。

1 eビジネスとは

まず、eビジネスとは何であるかという疑問が湧くと思います。eコマースやeマーケティングとはどう違うのか、前回のeコマース等の解説をお読みになった方は「あれ以上何があるのか」と思われるのではないのでしょうか。

eビジネスとは、実はもともとIBMが販促のために打ち出したスローガンです。それが一般的な用語として広く用いられるようになったのです。で、その意味ですが、eコマースが、電子（インターネット上）の「商取引」であるという、他社との関係における情報・手段の電子化に過ぎないのに対して、eビジネスは、すべての情報交換や情報自体を電子化することにより、経営効率を向上させることをいいます。いわば企業

活動全体を包む電子化構想で、取引先との商談だけではなく、社内の連絡やすべてのデータ管理等業務の一切を、ネットワーク化した情報システムとして活用していこうというものです。

ただし、単にインターネットビジネスとイコールの意味で「eビジネス」と呼ぶ場合も多く、社内的な電子化、企業内の包括的な電子化、効率化という面からの考察を全くせず、eコマースとの違いがわからない「eビジネス」もありますが、前回eコマースについて解説しましたし、ここでは社内寄りの電子化について考えていきます。



2 チャレンジeビジネス1

まず、eビジネスについて、メリットデメリットを考えてみましょう。

○メリット

- ・情報の管理がしやすく、過去の情報（見積もり、社内資料等）が探しやすい。
- ・社員のスケジュール等を一元管理することによって全体として効率的な企業活動ができる。
- ・紙ベースの資料を減らすことができる。
- ・他の社員の進捗を知ることができるため、社員一人ひとりが効率的に働ける。
- ・稟議書・申請書等、社内書類の処理がスピードアップ



○デメリット

- ・すべてをコンピュータ上で扱うため社員全員がコンピュータを使えるようになる必要がある。
- ・コンピュータ上のデータなので蓄積されたデータが消えてしまう可能性がある。
- ・紙ベースでないと不安を感じる。
- ・導入にあたっての初期費用がかさむ。



すべて社内的な観点から考えてみました。

以上ざっとあげた中でも特にメリットとして大きいのは「社員がそれぞれの情報を共有することができる」ということでしょう。

個人としての情報収集力に関してはやはり限界があります。また、他の社員から情報を得る場合、どうしてもその社員の貴重な活動時間を割いてもらって話を聞かなければなりません。教える側の社員にとっては無駄な時間になってしまいます。（もちろん社員同士のコミュニケーションも大事ですが）

また、各社員が得た情報を社内のデータとして蓄積していれば、もし、凄腕の社員がやめてしまったとしても情報（ノウハウ）は残ります。コンピュータ上にあるということで、今まで資料の検索にかけていた時間の無駄も解消することが出来ます。

あと、デメリットに関しては、ほぼ問題を解消することができます。

データの消失に関してはバックアップ（データのコピーを別の場所に保管しておくこと）をこまめにすることにより、たとえコンピュータが突然故障したとしても情報を残すことができます。

紙ベースでない不安を感じるという点に関しては、慣れていくよりほかにないでしょう。ただ、コンピュータというもの100%信頼できるというものではありませんからある意味しかたがないと言えます。（たとえ紙に印刷してあるものであっても100%というわけにはいきませんので同じことです）

導入にあたっての初期費用に関しては、その規模や、またシステムを構築しようとする担当者の工夫によりある程度抑えることができます。

3 チャレンジeビジネス2

それでは具体的に社内の情報ネットワークを構築するにはどうすればよいのでしょうか。

eビジネス実践企業になるための有用な第一歩として「グループウェア」の導入があります。

グループウェアとは、共同作業をするグループ全員のパソコンをネットワークでつないで情報交換し、個人の作業効率だけでなくグループ全体の生産性を向上することを目的としたソフトウェアの集まったもののことです。

グループウェアを導入するにあたってまず考えなければならないことは

- ・ 予算
- ・ 規模
- ・ 社員が活用するために必要な機能

の3つでしょう。グループウェア自体はたくさんの種類が回っていますので、インターネットを利用し検索すればそれぞれ規模や予算にあうものが見つかるでしょう。なかには無料で配布されているものもありますし、導入前に一定期間製品を試すことができる「お試し期間」を設けている製品もあります。

特定製品を例に出して解説する訳にもいきませんので一般的な機能にふれてみます。

○スケジュール管理

社員全員・部内などそれぞれのスケジュールが一元管理されているので、例えば会議の時間の調整や他の社員との連携のためのスケジュール調整などが簡単にできます。

また、重要なものについてはうっかり忘れるということがないようにメールで事前に連絡が入るようにすることもできます。

より進んだものは休暇などをオンラインで処理することができます。



○プロジェクト管理

あるプロジェクトに関する工程管理、情報の共有、資料作成、オンライン会議等ができます。それぞれの情報が記録として残るのでプロジェクトが終了したあとでも分析がしやすく今後役に立てることができます。

○アドレス帳の共有

取引先の住所や担当者など個人個人が管理していたものを全体として管理、活用することができます。

○掲示板

電子掲示板ですので誰が読んだかをチェックすることもできます。また閲覧板のように誰かのところで止まったり、情報が最後の人まで回るのに時間がかかったりということがなくなります。

掲示された情報に対する意見を書き込むことができるので、単なる情報伝達の手段以上のものとなります。

○文書管理

社内のさまざまな文書を分類して管理できます。さまざまな申請書や、見積書、また、社毎のフォーマットを定めた資料のひな形を共有することができそれを全員が利用することにより資料の整理がよりスムーズになります。

主な機能は以上のようなものですが、それ以外に会議室等の施設予約管理機能や、インターネット上に公開して他企業との連携をとれるようにしたもの、Webブラウザ上ですべての機能を使えるようにしたものなどがあります。

このように大変便利な機能があり、会社全体としての効率があがるといっても社員全員が使わなければ意味がありません。導入するにあたっては、いかに社員全員が使えるようにするかというのが最も重要な課題です。

いきなり多機能で操作が難しいグループウェアをパソコンの操作にいまいち自信のない社員が多い会社を導入しても活用はむずかしいでしょうし、出張や、社外での活動がほとんどの営業部の人たちにとってはインターネット経由で活用できるような環境も整える必要があります。

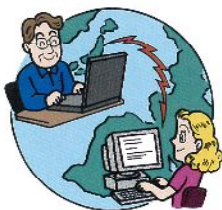
また導入にあたっての社内講習会、操作・機能に関する質問に答えられる担当者が必要になる場合もあるでしょう。

とにかく、グループウェアを導入するのが最終目的ではなく、導入した時点が新たな出発点だと考えましょう。社員全員が活用することによってはじめて会社の資産となるのですから。



4 eビジネスの将来

現在は個々の企業がそれぞれの企業毎に独自の書類管理、情報収集を行っていますが、今後企業間での情報の共有が進んでいくと思われます。スケジュール管理に関しても他企業との連携がなされるようになるでしょう。



また、発注先の在庫状況や、商品の納期の情報などを自動的に取り込み、発注調整や代替商品の検索・調整をしたり、いちばん納期の短いところや単価の安いところを自動的に探して商品提案をするようなシステムもできてくるでしょう。

20世紀は製造工程におけるオートメー

ション化ということで産業用ロボットや、さまざまな製造用機械が開発されましたが21世紀は業務のオートメーション化がすすむのではないのでしょうか。情報の検索、多要素が絡み合ったものの調整といった、人間の手では時間のかかる作業をコンピュータがこなしてくれることで、情報の分析、将来に向けての判断、アイデアに向けられる時間が増えるでしょう。ですから「eビジネス」企業になったからすごいんだ、安心だ、将来があるというものではなく、手間のかかる雑用を素早くこなしてくれる秘書が社員一人ひとりについたというようなもので、空いた時間を活用していくのは社員一人ひとりだということを忘れないようにしましょう。

トピックス ▶▶▶1

滋賀県産業振興新指針が策定されました！

滋賀県では、平成13年度以降2年間にわたり、滋賀県産業振興委員会での審議、県民、事業者、大学等の皆さんからの提言等を通じて、滋賀県産業振興指針を見直し、改訂を進めてきました。このたび、滋賀県民政策コメントにおける意見、滋賀県産業振興委員会からの指針改訂の建議（2月10日県に提出）等を踏まえ、「たくましい経済県」の実現に向けた確かな戦略を示す「滋賀県産業振興新指針」が策定されました。

概要については、以下の通りです。

産業振興の目指すべき方向

滋賀県産業振興新指針 —産業創造立県・しが～創造・自律・協働—

産学官が力を集結させて、たくましい経済県づくりを



湖国の活力・魅力・資源を産業に活かす

今まさに、滋賀県経済は21世紀の変革の時代に対応した県産業の活性化と新たな産業の創造を目指して、「たくましい経済県」の実現に向けた確かな戦略を立て、県民を含む産学官が持てる力を結集・連携して産業振興に取り組むべき大きな転換期にあります。

このような中、第二名神高速道路や東海道新幹線（仮称）びわこ栗東駅など交通基盤の整備。環境・健康福祉・観光関連といった湖国ならではの産業の発展。長浜バイオ大学など高等教育機関の充実。そして、未来に向けて増え続ける県民、NPOの活力。—21世紀を歩み出した滋賀県には産業の振興に役立つ多様な素材があふれています。これらの未来の可能性を存分に引き出し、滋賀の躍進につなげていくことが求められています。

産学官連携体制の構築と創造型・自律型の産業構造への転換を目指して

滋賀県には多様な大学や研究機関、豊かな自然や歴史・芸術・文化があり、かつ、地理的な条件にも恵まれ、未来を担う県民の活力により、活発な産業活動が展開されています。

そこで、これらの魅力ある力をさらに産業振興に活かしていくため、県民・NPOや金融機関も含め産学官が智恵と力を合わせ、お互いに交流できるネットワークを構築していく必要があります。

この連携をもとにしながら、しっかりと将来のとるべき方向を見定め、世界的な競争にも打ち勝てる新しい技術や新サービスなどを創造できる産業、また、社会や環境の変化にも柔軟に対応でき自律的な発展が可能な産業となるよう、その振興を力強く展開していくことが重要です。

滋賀県産業振興新指針の全体像

背景

- 1・IT化・グローバル化の急速展開
- 2・深刻化しつつある厳しい経済・雇用環境
- 3・「選択と集中」へのベクトル修正
- 4・科学技術力の比重増大と高付加価値化
- 5・「環境」と「人」の世紀の幕開け
- 6・本格的な地方分権の到来と地域間競争の激化
- 7・多様で主体性を持った社会活動の展開
- 8・少子高齢・健康長寿社会の進行

基本的視点

「危機意識」の明確化と「夢・希望・魅力」 従来の枠組みにとられない「構造転換」

産学官の垣根を越えた人中心の「交流連携」

産学官連携体制の構築と 創造型・自律型産業構造への転換

科学技術と人材

21世紀繁栄型スタイル

産業振興と「人」「環境」

アジア欧米等パートナーシップ

基本方向

- ① 素材を活かした滋賀らしさの追求 —産業環境と産学官連携体制—
- ② 時代に先んじる新産業の創造 —滋賀3K産業およびバイオ産業、IT産業—
- ③ 「智の利」を基にした科学技術と人づくり —創造型モノづくり—
- ④ 時代の変化に対応した地域産業の創生 —地場産業と商業機能、サービス・流通機能—
- ⑤ 県民の力を原動力とした経済の再生 —NPO・コミュニティビジネス—
- ⑥ グローバル化への対応 —ワールドワイドな視点—

プロジェクト構想

仕組み

- ①地域特性を活かした県版経済振興特区推進プロジェクト
- ②グローアップ〔企業事業化〕促進機能最大化プロジェクト
- ③県民活力導入—パートナーシップ推進プロジェクト
- ④産学官連携基盤構築プロジェクト

分野

- ⑤環境産業クラスター形成プロジェクト
- ⑥健康福祉産業ネットワーク形成プロジェクト
- ⑦びわこバイオステージ推進プロジェクト
- ⑧湖国観光交流ビジョン推進プロジェクト

人材への視座

自然と文化への視座

発言への視座

産学官等の役割

指針の推進手法

指針の効果把握

未来像

- ① 産学官ネットワークにより持続発展を促す自律型産業活動
- ② 高付加価値の新しい技術や新しいサービス等が絶えず創造される産業活動
- ③ 自然環境と人の生活を豊かにする、経済発展と雇用創出を実現する産業社会

トピックス▶▶▶2

平成13年滋賀県貿易実態調査結果の概要をお知らせいたします！

平成13年1月1日～平成13年12月31日を調査対象期間とした滋賀県貿易実態調査結果の概要が滋賀県より公表されました。従業員数30人以上の製造業951事業所を対象として、383事業所（回答率40.3%）より回答を得たもので、調査の概要は、以下のとおりです。

滋賀県の平成13年の輸出額は4,163億7,200万円で、輸入額は1,788億9,100万円であった。企業区分で見ると、中小企業の輸出額は、514億1,300万円で全体の12.3%、輸入額は、160億700万円で全体の8.9%となっている。

図1：輸出額の推移

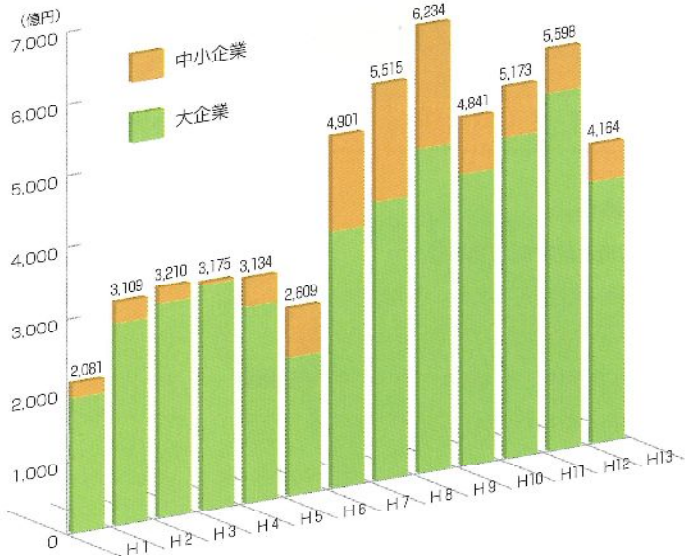
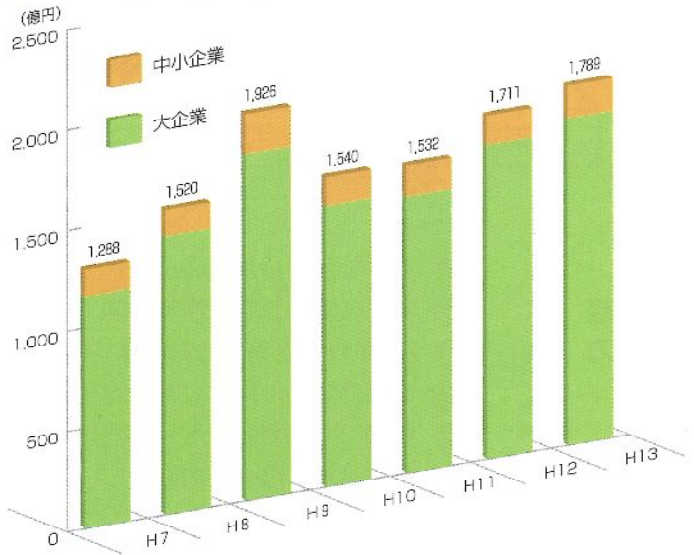


図2：輸入額の推移



仕向地別輸出実績は、アジア向けが最も多く2,419億2,000万円で全体の58.1%を占めている。次いで、北米向けの1,162億900万円（構成比27.9%）、西欧向けの391億7,900万円（構成比9.4%）となっている。仕向地別輸入動向は、アジアが最も多く、669億1,200万円で全体の37.4%を占めている。次いで、西欧の601億6,500万円（構成比33.6%）、北米の408億4,100万円（構成比22.8%）となっている。

図3：仕向地別輸出額（平成13年）

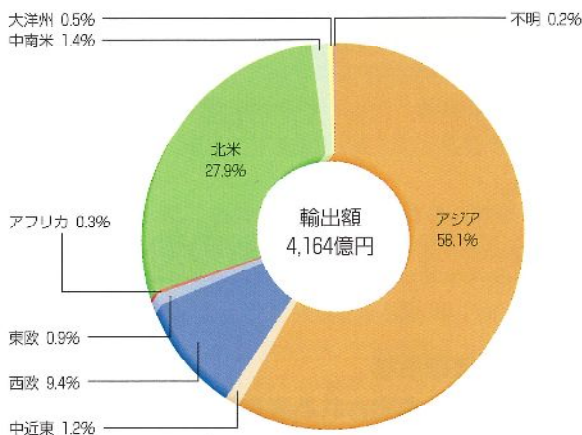
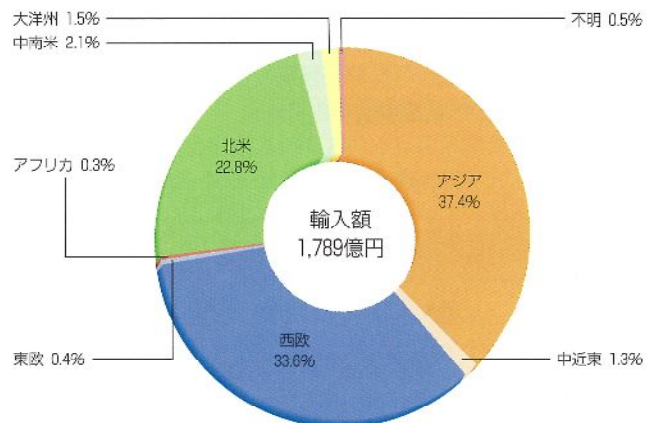


図4：仕向地別輸入額（平成13年）



（注）：この調査は、滋賀県の輸出入の傾向を知るため毎年毎に実施している任意調査であり、回答のあった事業所の輸出入額（本社経由及び親企業、商社経由等の間接輸出入を含む）を集計したものであるため、必ずしも滋賀県の総輸出入額とは言えません。

トピックス▶▶▶3

「企業組合制度」でコミュニティ・ビジネスに挑戦!!

企業組合制度は、個人が、その技能、経験、能力等を活かしながら協同して事業を行うための制度です。この制度の大きなメリットは、4人以上という少人数の発起人で、資本金がなくても、有限責任で法人格が得られるところにあります。最近では、この制度を活用して、社会貢献を目的とするコミュニティ・ビジネスなどの設立が増加しています。

今回この制度がさらに機能アップして使い勝手がよくなりました。自己資本の充実が図られる他、サポーターとして組合に加入する法人等の経営資源を活用できるようになる等、コミュニティ・ビジネスを創業、運営していく上で大変運用しやすくなりましたので、その改善ポイントについてご紹介します。

①組合員となることができる方々の範囲が拡大されました。

(組合員資格の拡大)

これまで、組合員は個人に限定されていましたが、株式会社等の法人や任意グループを加入させることができるようになりました。これにより、自己資本の充実などを通じて企業体としての機能の強化を図ることが容易になりました。

②事業に従事しなければならない組合員の割合が緩和されました。

(従事比率の緩和)

事業に従事しなければならない組合員比率が組合員全体の「2/3以上」から「1/2以上」に緩和されました。これにより、組合の事業に賛同しながらも、様々な理由で事業に従事することができない方々を組合員へ勧誘しやすくなりました。

③従業員全体に占める組合員の割合が緩和されました。

(組合員比率の緩和)

従業員(事業に従事する者)全体に占める組合員比率が「1/2以上」から「1/3以上」に緩和されました。これにより、事業規模の拡大に対応して、パートタイマー等で雇用する従業員数を増やすことが容易になりました。

④配当することができる剰余金の範囲が拡大されました。

(出資配当の範囲の拡大)

剰余金の配当の範囲が「年1割以内」が「年2割以内」に拡大されました。これは、日々のキャッシュフローが安定していれば投資家の目が向くこともある、というメリットもあります。

新しい企業組合(個人と法人の新しい連携)のイメージ

現状 企業組合(個人のみ)



課題点

- 資金不足
- 人材不足
- 物材不足
- マーケティング力不足
- 技術情報不足
- ニーズ情報不足
- 取引販路未確定

特定組合員

(会社、社会福祉法人、学校法人、医療法人、公益法人、NPO法人、中間法人、民法組合、有限責任投資事業組合、人格無き社団等)

見直し後 企業組合(個人+既存企業等)



企業の研究施設利用や特許技術の活用など

課題の解消

(意欲、能力のある個人+既存企業等の経営資源)

働きたい個人が一層円滑に協同して事業を行う機会が確保

詳細につきましては下記までお問い合わせください。

問い合わせ先 財団法人滋賀県産業支援プラザ

電話：077-525-7573 FAX：077-525-1931

(コミュニティ・ビジネス推進担当：坂本)

トピックス▶▶▶4

「滋賀県健康福祉ビジネス産業化セッション事業」 調査・研究の公募について

少子高齢化の進展、ノーマライゼーション社会への移行や健康志向が高まる中、誰もが生涯を通じて安心して暮らせる社会づくりが求められています。

また、健康と暮らしを支える社会的役割は、公的制度による措置・援助やボランティア活動等による共助等、福祉施策をはじめとした社会保障制度による支援が中心となっていました。今後は、従来の仕組みや枠を超えた産業活動により大きな期待が高まりつつあります。

誰もが生涯を通じて健康で自立した生活の中で、社会参加や生きがいを持てる社会環境の構築を目指し、健康福祉分野における創造的新ビジネスへの自立的取り組みの発展・成長を図るとともに、これらの取り組みを支援することにより新しい産業創出の展開につなげていくため、当産業支援プラザでは、「滋賀県健康福祉ビジネス産業化セッション事業」調査・研究のテーマを広く募集します。

提案締切日 平成15年4月30日(水) 17:00 必着

1. 事業の内容

新たな健康福祉ビジネスの創造に向けて取り組もうとする県内の企業、大学、団体、グループおよび個人から高齢者等の自立、社会参加、生きがい、健康づくりなどの分野でのハードおよびソフトを含む様々なビジネスプランについて広く提案を求め、審査選定の上、産業化に向けた調査および研究活動について当該提案者に委託を行います。

〈ビジネスプラン例〉

ビジネスプランの例としては、次のようなものが考えられます。

- 高齢者や障害をもった方をはじめ誰もが、いつまでも生き生きと生きがいを持って暮らしていけるための日常生活、余暇活動やコミュニケーションなどを支援する機器・用具の製造やサービス事業
- 誰もが健康ではつらつとした生活を送れるように、体力づくりや健康維持のための機器・用具の製造やサービス事業
- 高齢者等が知識経験を生かして、社会参加や就労など新たな挑戦を支援するための機器・用具の製造やサービス事業
- 社会の高度化・複雑化によるストレスや疲れを解放するため、今日、注目されてきた「癒し」による心身のリフレッシュや緊張緩和を促す機器・用具等の製造やサービス事業

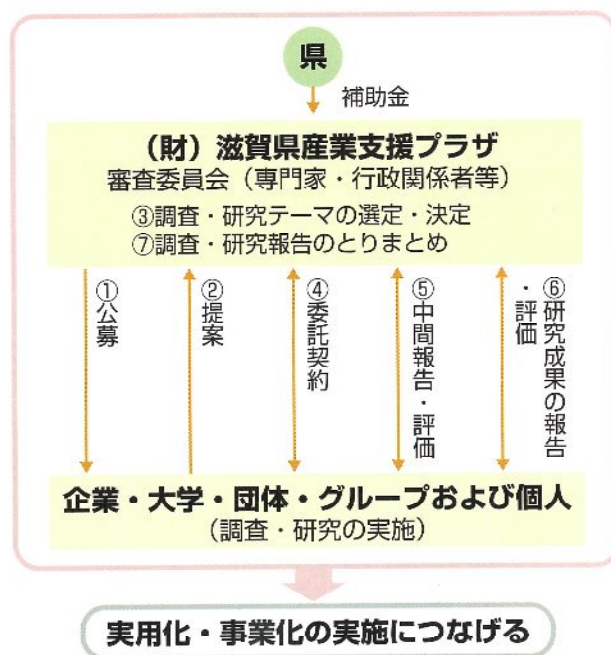
2. 調査・研究期間

委託契約締結の日から平成16年3月末日までの間とします。

3. 応募対象者

新たな健康福祉ビジネスの創造に向けて取り組もうとする県内の企業、大学、団体、グループおよび個人を対象とします。

4. 事業のスキーム



5. その他

公募資料の詳細については、プラザのホームページをご覧ください。

<http://www.shigaplaza.or.jp>

詳細については、下記までお問い合わせください。

財団法人滋賀県産業支援プラザ

電話：077-525-7573

FAX：077-525-1931

トピックス▶▶▶5

びわ湖環境ビジネスメッセ2003

出展者募集中!

地球環境保全・環境負荷軽減の観点から、また21世紀の「持続可能な社会」形成の担い手として、環境ビジネスの振興を全面に打ち出し、滋賀県の「産・学・官」が連携して開催してまいりました「びわ湖環境ビジネスメッセ」は、本年度で連続開催6回目を迎えます。

当メッセは例年、国内外はもとより海外からも多くの出展参加企業・団体を集めて開催され、**平成14年実績は出展小間数412（出展者数203者）、来場者は3日間で延べ40,800名余り**と、年々盛況で活気あるメッセとして各方面から高い評価をいただいております。

本年も、これまでの開催実績や出展者・来場者のご意見をもとに、より一層商談を重視したメッセを目指します。**今後、さらなる成長が期待される環境分野の最新情報・技術・製品が集積する「びわ湖環境ビジネスメッセ2003」に、積極的にご出展いただきますようご案内申し上げます。**



開催概要

- **名 称** びわ湖環境ビジネスメッセ2003（第6回滋賀環境ビジネスメッセ）
- **テ ー マ** 地球と私たちを豊かにする「新」環境ビジネス
- **展示会場** 滋賀県立長浜ドーム（滋賀県長浜市田村町1320） ※JR田村駅から徒歩5分
- **開催日時** 平成15年11月5日（水）～11月7日（金） 3日間
10：00～17：00（最終日は16：00）
- **主催者** 滋賀環境ビジネスメッセ実行委員会
《（社）滋賀工業会、滋賀県、県内経済団体、県内大学、長浜市、彦根市、米原町》
- **概 要** 展示面積：8,614㎡、出展予定：約190者・400小間、来場者数：延べ4万人（見込）
- **ホームページ** 「びわ湖環境ビジネスメッセ2003」出展に関する詳細は、下記アドレスに掲載しております。
<http://www.pref.shiga.jp/event/messe/>
- **「さらなるビジネスマッチングを目指して！」**
 - ①出展者と来場者のビジネスマッチングをサポートする**商談サポートコーナー（仮称）**を設置します。
 - ②**出展者プレゼンテーションコーナー**を設置し、効果的なPRの場を設けます。
 - ③来場者が目的のブースをすぐに探し出せるよう、**出展分類リスト**を全ての来場者に配付します。
 - ④メッセ終了後も、**ホームページ（PRサイト）**にて各出展者や出展物等を紹介し、商談・交流に役立てます。
 - ⑤メッセ2002 PRサイト <http://www.green-ecomart.ne.jp/biwakomesse/>

申込締切日 ● 平成15年5月30日（金）

問い合わせ先

〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目1-1（滋賀県庁商工労働会館内）

滋賀環境ビジネスメッセ実行委員会事務局

社団法人滋賀工業会（小林）

TEL：077-526-3575

FAX：077-526-3577

滋賀県商工観光労働部新産業振興課（大崎）

TEL：077-528-3793

FAX：077-528-4876

今、新技術開発やヒューマンネットワークの形成など産学連携が注目されています。このコーナーでは大学などの産学連携に関する情報を掲載します。

産学交流の流れ

受託・共同研究の申込み窓口

芸術文化交流センター
産官学共同プロジェクト推進室

事前交渉

調査、研究の内容に関し研究者、研究の方法、期間、経費及び事務手続き等について事前の協議を行う。

見積書提出

研究内容に基づいた見積書を提出

契約締結

成果品に対する取り扱いを決める。

研究開始

研究完了、成果報告

芸術文化交流センター

TEL. 077-574-2118 (直通) FAX. 077-574-3595
e-mail geibun@seian.ac.jp

担当 課長 前田美佑恵

産官学共同プロジェクト推進室

TEL. 077-574-2111 (代表) FAX. 077-574-2120
e-mail sankangaku@seian.ac.jp

第2回目は 成安造形大学からの情報提供です。

人と機械のインターフェイスを提案する

成安造形大学は今年度開学10周年を迎えます。本学では平成5年開学以来「芸術と社会の融合」を理念に掲げ、開かれた大学として滋賀県とのデザイン連携事業や伝統産業の活性化、芸術を通して地域文化の交流に貢献してきました。また平成14年には、産学交流をより組織的に取り組むため、新たに産官学共同プロジェクト推進室を開設しました。

今後、企業が差別化を図るためにはデザインが大きな鍵を握っています。本学では将来のクリエイターであり消費者でもある学生の豊かな感性を、企画開発や共同研究に活かせるシステムをとっています。また本学が媒介することで、企業間のコラボレーションによる新たな発想や創造が促進され、新製品の開発や市場

が生まれる事に貢献できればと考えています。



鑑賞者が触れることにより表情が変化する「なでロボ」

<産官学共同研究取り組み>

企業の技術シーズを解りやすく視覚化したプロモーション制作、デジタルコンテンツ制作、CM制作、最先端デザインの共同開発、企業のテーマに応じた研究開発、まちづくり、地域活性化に向けた調査、研究、サイン計画等



いしだ さちこ
石田 幸子さん
担当：webデザイナー

株式会社トールクロス

〒520-0818 滋賀県大津市西の庄19-10リンクスビル3F
TEL. 077-510-1801 FAX. 077-510-1802
URL <http://tollcross.co.jp/> e-mail info@tollcross.co.jp

『WEB制作の基本は美味しいおにぎり作りである。』をモットーにITに関する様々な事業を行っている株式会社トールクロス。

美味しく売れるおにぎりを作るには米の種類、海苔の選び方、味つけ、パッケージデザイン、販売のタイミングなど様々なマーケティングの要素が必要とされる。美味しいおにぎり作りのマーケティング戦略に基づくWEB制作を心がけ、お客様の商品企画から販売戦略までを提案するのがトールクロスのWEBデザイナーの仕事。そんな業務に憧れ昨年か



入社し、活躍しているのが石田幸子さん(26歳)。

「一番心がけている事は時間がかかっても、自分ができる能力を最大限発揮し、何か1つでもお客様に役立つ提案をしていきたい。」と日々の業務に従事している。

制作の締め切りが迫っている時は帰宅が深夜になる事も。しかし「まだまだ、webデザインについては見習いの身同然。となりの席の先輩から、色々なノウハウを吸収中です。これからもどんどん勉強し、美味しいおにぎりを作れるようにがんばります。」とひかえめながらも、常に向上心を持たれているのが魅力的である。そんな石田さんはカラーコーディネーターの資格も持ち「色」という知識

を使って、センス良いwebページ作りを通し、お客様の業績の向上をお手伝いして行きたいと思います。」とコメントも。

石田さんが勤務する株式会社トールクロスは平成9年に設立され平均年齢28歳と非常に若い企業。ホームページ制作やシステムの開発、IT関連の人材の派遣など、公共機関の仕事から大手民間企業など県内のIT関連の業務においては多数の実績を持ち、現在従業員も60人を超え、業績も急上昇している。このような元気で若い会社で石田さんのような社員が美味しいおにぎりを沢山作ってくれば滋賀県の景気も上向きになるのではないだろうか。いずれにしろ今後が非常に楽しみな会社である。(F)

●このコーナーは、滋賀県企業情報検索市場skkiにご登録いただいている企業から、魅力的なお仕事をされている方を紹介させていただきます。

技術研修紹介

当産業支援プラザが平成15年度に開催する技術研修についての年間計画をご紹介します。詳細については、**当産業支援プラザ技術支援課 (TEL: 077-558-1530)** まで、お問い合わせ下さい。

期	講座名	内容のポイント	開催予定日 (講師都合等により変更あり)	定員	日数	時間数	受講料 (目安)
214	鉄鋼材料と熱処理技術	産業分野で使用されている金属材料は、化学成分、熱処理条件などによってその性質が異なります。この金属材料をうまく活用するための基礎理論、熱処理技術、および表面改質技術などの基礎と応用技術について実習を交えながら学習します。	5/13、15、20、21、27、28	15名	6	26	39,000
215	プラスチック射出成形加工技術	射出成形を中心にプラスチックの成形材料、成形法、金型、二次加工、射出成形加工、リサイクル技術に必要な内容について解説するとともに、具体的な成形不良対策等現場で役立つ技術についてもアドバイスします。	5/30、6/2、4、6、10、12	15名	6	25	45,000
216	三次元CAD/CAM入門(1)	製造分野における機械設計から加工に至る一連の流れを効率化するものとして三次元CAD/CAMの有効活用が上げられる。本講座では、初めての方を対象に概要について解説するとともに、基本的な操作や留意点などを演習を交えながら学びます。本講座は栗東と彦根にて同時に開催します。	6/16、17、18	栗東、彦根 各5名	3	18	19,000
217	C言語プログラミング技術	コンピューターを用いた機器制御のためのプログラム開発言語であるC言語について、プログラム作成の基礎から解説し、プログラム作成実習により理解を深めます。	6/24、26、30、7/2、4、8、10、14、16	15名	9	27	45,000
218	CAE入門(1)	複雑な構造物や部品の薄肉あるいは軽量設計をコンピューターでの計算により効率的に行う有限要素法などのCAE解析を、初めての方を対象に、概要、基本的な操作方法や留意点などについて演習を交えながら学びます。本講座は栗東と彦根にて同時に開催します。	7/23、24、25	栗東、彦根 各5名	3	18	19,000
219	情報ネットワーク技術	企業経営の合理化・生産性の向上を推進するうえで、不可欠なIT技術についてその基礎から構築、運用までを体系的に学習します。なお、本講の各構成科目は自由に選択して受講することができます。以下のような科目を予定しています。 ●ネットワークの基礎 ●ネットワーク活用 ●Windowsネットワーク構築実習 ●Linuxによるインターネットサーバー構築 ●LinuxによるWebアプリケーション開発実習	基礎：8/25、26 活用：8/27 windows： 8/28、29 サーバー： 9/1、3、5 アプリケーション： 9/8、10、12	各科目 15名	延べ 11	延べ 70	基礎：12,000 活用：9,000 Windows： 25,000 サーバー： 38,000 アプリケーション： 40,000
220	DNCシステム構築のためのVisualBasicプログラミング	本講座では紙テープやフロッピーディスクで工作機械に送られていたCAD/CAMデータを、コンピューターを使って直接オンラインで工作機械の制御装置に転送するDNCシステム構築等への応用を想定し、適したプログラム言語であるVisual Basicの習得を目的として研修を行います。	9/24、26、30、10/2、7、9	20名	7	28	35,000
221	環境マネジメントシステム構築	環境マネジメントシステム構築の実務ノウハウを講義と演習を通じて集中的に学ぶ講座です。滋賀県工業技術総合センター等が中小企業の支援のために開発した解説書「ISO14001すぐ使える中小企業の環境ISO実例」を使い、要求事項への具体的な対応として事例会社について環境側面抽出、文書作成、内部監査などを実務演習することにより、推進担当者の規格の理解を深め、システム構築能力や環境マニュアル、環境規程などの環境文書の作成能力を養成することをねらいとしています。	10/15、17、21、23、28	15名	7	42	45,000
222	三次元CAD/CAM入門(2)	本研修講座は6月に実施する「三次元CAD/CAM入門(1)」と内容的には同じです。講義は遠隔講義システムにより栗東と彦根を結び同時に研修します。	11/11、12、13	栗東、彦根 各5名	3	18	19,000
223	二次元CAD実習	本講座では二次元CAD (AutoCad) の操作方法・編集コマンド・各種設定・ファイル変換から三次元操作までを実習いたします。	2004年 1/14、16、20、22	20名	4	24	25,000
224	CAE入門(2)	本研修講座は6月に実施する「CAE入門(1)」と内容的には同じです。講義は遠隔講義システムにより栗東と彦根を結び同時に研修します。	2004年 1/28、29、30	栗東、彦根 各5名	3	18	19,000
225	食品衛生技術	食品の衛生管理技術として開発されたHACCP (危害分析・重要管理点監視) 方式の考え方は、食品分野のみならずプラスチックや化粧品、製薬業界でも衛生管理技術や品質管理技術として応用のできるものです。本講座では、HACCPを導入するために必要な基礎知識や実務技術を学習します。	2004年 2/2、4、6	15名	3	18	30,000

※なお、都合により開催月、内容を変更する場合があります。

新着

図書&ビデオ紹介

プラザ・インフォメーションコーナーでは、経営・販売促進・情報などの各種の図書およびビデオソフトを多数取り揃えています。最近購入しました図書およびビデオソフトの一部をご紹介しますので、是非ともご利用下さい。

俺が、つくる！

岡野 雅行 著

ケータイ・痛くない注射針・燃料電池車等、ニッポンのモノづくりを支える金型プレス職人岡野雅行が語る開発哲学、経営哲学のすべて！



日経ビデオ

実戦! ビジネス・コンプライアンス
管理者・中堅社員のための遵法の常識

全3巻/各巻20分

- ① ビジネス・コンプライアンスのABC
- ② ケーススタディー
ビジネス・コンプライアンスPART1
- ③ ケーススタディー
ビジネス・コンプライアンスPART2



BOOK

VIDEO



入門! 企画道場
絶対ボツにならない
企画書の作り方

河合 正嗣 著

アイデアを形にして納得させる!
企画書作成の基本テクニックを6つ
のステップで完全マスター!

BOOK

アスパ

VDT&パソコン作業
の疲労回復法

全2巻/各巻20分

- ① ひとり1台時代の健康管理
- ② テクノストレスと心の疲労回復



VIDEO

すぐに役立つ
株式会社・有限会社の
設立手続実践文例55

高橋 裕次郎 監修

実践的に使える会社設立手続の決定版!
商法改正にも完全対応。定款作成から設立申請手続まで申請書類を網羅



アスパ

新・メンタルヘルス
セルフケア

- ☆ ストレスにちょっぴり強くなるために / 25分
- ☆ ストレスをためない10の方法 / 26分



VIDEO



すぐできるISO9000ファミリー5
ISO9000 (2000年版) Q&A集

細谷 克也 編著

ここまでやれば認証取得ができるというレベルまで掘り下げて、Q&A形式で事例をもとに、わかりやすく回答。

BOOK



テラハウス
パソコンライブビデオ講座

Webデザイン 講師: 吉野光輝

- ① サイト作成フロープランニング
- ② サイト作成フローサイトデザイン
- ③ サイト作成フローオペレーション

VIDEO

企業のやる気を応援します!

(財)滋賀県産業支援プラザ

〒520-0044 滋賀県大津市京町四丁目1番1号
滋賀県庁商工労働会館内

TEL.077-525-6366・FAX.077-525-1931

<http://www.shigaplaza.or.jp/> keiei@otu.shigaplaza.or.jp

●公共機関で JR大津駅から徒歩5分 / ●乗用車で 名神大津インターから約3分
※駐車場は県庁南駐車場(無料)をご利用ください。

